

(ご参考) エア・リキード プレスリリース

2014年2月18日、パリ発

2013年連結業績 引き続き成長の年に営業利益と純利益の伸び

主要業績

- グループ売上:
15,225 百万ユーロ、 **+3.7%**
(為替と天然ガス価格変動による影響を調整)
- 営業利益率増加: **16.9%**
- 純利益:
1,640 百万ユーロ、 **+5.5%**
- 2013年配当予測:
一株あたり**2.55ユーロ**、**2.0%増加**

2013年ハイライト

- 成長市場への継続的な投資: 大規模コンビナート(アントワープ、ロッテルダム、ベイポート)における大口ユーザーとの契約
- 事業買収: フランス、ポーランド、スカンジナビア半島、オーストラリアのヘルスケア事業
- イノベーションと技術: カタールにおける世界最大のヘリウム液化装置の稼働、水素エネルギーでの新しい歩み、新しいイノベーション体制の発表

ブノワ・ポチエ エア・リキードグループ会長兼 CEO による 2013 年業績へのコメントは以下の通りです。

「2013年に当グループが成し遂げた前進は、景気回復の兆しと、北米と中国での成長速度を反映したものでなりました。世界的なプレゼンス、成長市場でのイニシアティブと効率化プログラムの強化により、それらの相乗効果で営業利益を昨年に続いて伸ばすことができました。当グループは利益率と純利益を継続して伸ばすことを目標としていますが、これに沿った成果を上げることができました。2013年を通じて、競争力強化と長期にわたる発展の両面における最善の体制作りをめざし、市場の変化に合わせた構造改革を続けてきました。さらには合計 27 億万ユーロの投資決定、新規契約の締結、23 の製造工場の稼働は、今後数年の当グループの成長につながり、同時にイノベーションと技術発展にも寄与します。したがって、エア・リキードは 2014 年も引き続き、環境悪化の影響を最小限に食い止め、純利益増加を達成できると見込んでいます。」

2013 年連結売り上げは、15,225 百万ユーロとなりました。為替と天然ガスの価格変動による影響を考慮すると前年比 **3.7%の増加**、報告ベースではわずかに 0.7%の減少となります。昨年一年に渡る事業の伸張を反映し、**ガス&サービスの売上**は、為替と天然ガス価格変動による影響を調整すると **4.0%増**となりました。

ガス&サービスは全ての事業部門で売上を伸ばすことができました。ラージインダストリー事業では、アメリカでの石油精製や石油化学産業向け水素、ならびに東ヨーロッパでの酸素に対する旺盛な需要が貢献しました。ヘルスケア事業では、すべての地域において成長が見られました。特にヨーロッパの M&A に牽引されました。工業事業では、北アメリカでの販売量と価格の回復が見られ、アジアではヘリウムと特殊ガスの好調な売り上げが寄与しました。エレクトロニクス事業は、アメリカと中国における機器工事の売上増と Voltaix 社の買収により、2013 年第 3 四半期から回復が顕著になりました。またエンジニアリング事業では、19 億ユーロと高水準の受注が、お客様の積極的な中期事業計画を表しています。

対売上営業利益率は合計 303 百万ユーロという大幅な効率改善により、前年の 16.7%から 0.2 ポイント上昇し 16.9%となりました。純利益は 1,640 百万ユーロで、為替変動の影響を除くと 5.5%、報告ベースで 3.1%の増加となりました。営業キャッシュ・フローは 3.5%増加となりました。純負債は 6,062 百万ユーロとわずかに減少し、ギアリング率は 56%になりました。ROCE(使用総資本利益率)は目標としていた 11~13%の範囲内の 11.1%となりました。

2014 年 2 月 17 日に開催されたエア・リキード取締役会において、監査を受けた 2013 年度決算報告書が承認されました。法定監査人は意見書発行の手続きを進めています。

次回の年次株主総会にて、取締役会は一株当たり昨年比 2.0%増加の 2.55 ユーロの配当支払いを提案します。配当落ち期日は 2014 年 5 月 16 日に、支払いは 2014 年 5 月 21 日に設定されました。さらに、取締役会は、次回の年次株主総会の承認を得て、2014 年 6 月 2 日付での保有 10 株につき 1 株を無償支給することを決定しました。

取締役会はブノワ・ポチエ、ポール・スキナー、ジャンポール・アゴの 3 氏を取締役として再任(4 年間の任期)することを盛り込んだ年次株主総会への決議草案も承認しました。

加えて、取締役会は年次株主総会後の会議でブノワ・ポチエを会長兼 CEO として再任する意思も確認しました。取締役会は、取締役会会長が CEO の責務を負う際に、上級取締役を 1 名任命するという基本方針を採用する意思も確認しました。

取締役会は、本年の年次株主総会終了と同時に現在の任期が切れるベアトリス・マノニ女史の再任を望まないという決断も正式に決定いたしました。取締役会は、彼女の当会と委員会への長期に渡っての貢献に心より感謝をいたします。シン・レン・ロー女史とアネット・ウインカー女史の 4 年の任期での取締役任命を決議案に盛り込むことを承認いたしました。

加えて、取締役会は 2013 年と 2014 年の役員報酬を決定しました。詳細はエア・リキードウェブサイトをご覧ください。Say on pay に関する 2 つの特別な決議に関連して、2013 年の役員報酬の主な内容は株主に提出されます。

最後に、取締役会は年次株主総会終了後の 6 カ月間で、従業員から一人を取締役会のメンバーに選ぶと

いう課題を、すでにこれに関して前向きなフランスの労働評議委員会に委ねることを提言いたします。

ブノワ・ポチエは 2013 年グループの業績に**ビデオインタビュー**でコメントをしており、
<http://airliquide.eurobusinessmedia.com/ceo-direct/air-liquide/interview-with-chairman-ceo-benoit-potier-fy-2013,2014-02-17,1096> よりご覧いただけます。

連絡先

Corporate Communications

Corinne Estrade-Bordry

+ 33 (0)1 40 62 51 31

Garance Bertrand

+33 (0)1 40 62 59 6

Investor Relations

Virginia Jeanson

+33 (0)1 40 62 57 37

Annie Fournier

+33 (0)1 40 62 57 18

日本エア・リキード株式会社

広報部 豊山(とよやま)

TEL 03-6414-6728

主要スケジュール

2014 年第 1 四半期売上発表

2014 年 4 月 24 日(木)

年次株主総会

2014 年 5 月 7 日(水)

上半期業績発表

2014 年 7 月 31 日(木)

産業と健康に技術とサービスで貢献するガス事業の世界的リーダーとして、エア・リキードは全世界 80 カ国で 50,000 人近い従業員を擁し、200 万以上のお客様と患者の皆様にサービスを提供しています。酸素、窒素、そして水素は、1902 年の創業以来、当社の活動の核となってきました。エア・リキードのアンビションは、ガス産業のリーダーであるために、長期的パフォーマンスを維持し、責任ある行動を取ることで。

エア・リキードのアイディアは、長期にわたる価値を創造します。グループの発展の中心に、社員の献身と継続的なイノベーション力があります。

私たちは、市場の変化を予想し、仲間を信頼し、ローカルおよびグローバルに投資を行い、質の高いソリューションを提供します。

エア・リキードは、オペレーションにおける競争力、成長市場におけるターゲットを絞った投資、新規市場と機会を開拓するイノベーションに注力します

2012 年の売上は 153 億ユーロで、健康と環境保全に貢献するソリューションが売上の約 40%を占めています。エア・リキードは、ユーロネクスト・パリ (A 部) に上場されており、CAC40 ならびに Euro Stoxx50 の構成銘柄です。